



# 消防団広報



大成地区では毎年自主防災訓練を行っています。今年も小雨の降る中、293名の方に参加していただきました。住民の皆さんの防災に対する意識が高まり、私達消防団員も皆さんに負けないよう、技術向上のために努力したいと思います。

第三十七号 二〇一七年十一月  
編集・発行  
桑名市大字江場七番地  
桑名市消防団 企画情報部会

2ページ 訓練・教育  
3ページ 視察・紹介  
4ページ 方面団訓練  
5ページ 特集:「今」できる、地震への備え  
6ページ 女性消防団



## 水防訓練

五月二十八日



災害発生時のサイレン(訓練)が鳴り、本部長指令が発せられ、消防団長からの「土のう拵え工を開始せよー」の号令で開始されました。

今回はゲリラ豪雨及び本格的な出水期を迎え、木曾川において洪水を想定し、本部長の指令から、消防団員(桑名方面団・長島方面団・多度方面団)・桑名市職員により、

① 土のう拵え工  
② 竹流し工法  
③ 釜段工法  
④ 月の輪工法  
⑤ 積土のう工法

を分担し、各工法の説明放送を聞きながら、与えられた訓練に取り組みました。

また国土交通省からは照明車・排水ポンプ車が展示され、訓練に一段と気合が入りました。

作業時は救命胴衣・ヘルメット・編上げ靴・皮手袋を着用し、迅速対応・安全作業に徹し、終始大きな掛け声で誰一人欠けることなく、消防団員の結束が固まり、大変有意義な訓練となりました。



## 新人教育

四月二十三日



長島防災コミュニティセンターにおいて消防団新人訓練が行われ、私達新人消防団員に、消防職員と消防団幹部の方々から基本動作やホースの取扱いの指導をしていただきました。

各個の基本動作は、普段の生活ではすることのない節度のある動作で戸惑いでしたが、消防団員として必要な動作を指導して頂いたので今回の訓練内容をしっかりと復習して精度を高めていきたいです。

ホース取扱い訓練では、展

張の方法、ホースの担ぎ方、放水の方法等を指導して頂きました。なかなか上手くホースを伸ばすことが出来なかったり動作を間違えてしまったり、このままでは災害時に役に立たないと感じました。今後とも訓練を通じて練習し、役立てるようにしていきたいです。

今回の新人訓練に参加し、消防という組織の訓練を体験したことで、改めて消防団員になったという自覚を高めることができました。本日指導して頂いたことを今後の活動に活かしていきたい、地域防災に役立てる様に頑張りたいです。



## 文化財防火デー

一月二十四日

雪の舞う中、文化財防火デーに伴う消防訓練が照源寺にて行われました。

本堂より出火との想定で始まり、気がついた住民の119番通報・避難誘導・文化財の持ち出し・本部消防車・消防車両の到着後、協力して放水訓練を実施しました。見学の園児・地域住民の方も、はしご車からの放水、水幕ホースからの放水に感動されたと思います。その後、女性消防団による消火器の使い方訓練がありました。

私たち消防団員は、最低限必要な知識、技術に関する個々の能力レベルの維持向上を図る為、これからも努力したいと思えます。



### 幹部視察研修

六月十一日  
奈良市防災センターで消防団幹部視察研修が行われました。



はじめに、奈良市防災センターの歩みについて説明をして頂きました。次に、体験コーナーで四種類の体験を二班に分かれて行いました。

① 消火体験では、家庭内の天ぷら油火災の消火を水消火器で体験しました。

② 地震体験では、東海・東南海地震の揺れを体験しました。何かに掴まっていないと耐えられない程

の揺れでした。

③ 煙避難体験では、何も見えない状況で前に進んでいく大変さを体験しました。

④ 台風体験では、風速二十メートルの風を一分間受けてみて、体の自由がきかない事を学びました。

四種類の体験で、災害に対する事前準備の大切さを改めて学習できました。

このような施設が桑名市にもあると住民の方に様々な体験してもらえるとともに、防災意識も高まるのではないかと思います。



### 新任紹介

平成二十九年九月一日付にて多度方面団長が新任されましたので、ご紹介させていただきます。



多度方面団長  
水野 孝哉

この度、多度方面団長を命ぜられました。就任にあたり大変身の引き締まる思いと重責を感じております。

近年、全国各地で多種多様な災害が発生しており、これから起こりうる自然災害に対し消防団の役割は一層重要になると考えます。

自分たちの町は自分たちで守ると強い思いと、消防団共助の精神で防災活動に取り組んでまいります。

今後とも皆様のご支援・ご協力を頂きます様よろしくお願い申し上げます、新任のご挨拶とさせていただきます。

平成二十九年四月一日付にて多度方面副団長が新任されましたので、ご紹介させていただきます。



副団長  
隅田 寿

この度、多度方面副団長を担うこととなり、身の引き締まる思いがいたします。

災害時における被害を最小限にする為、地域の皆さんと協力し、一つ一つ確実に対応していきたいと思っております。

皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新任のご挨拶とさせていただきます。

その他、分団長が新任されましたので、ご紹介させていただきます。

- 桑名方面団
  - 第二分団 清水 邦彦
  - 第三分団 内藤 誠一郎
  - 第十分団 加藤 忠司
- 長島方面団
  - 第一分団 加藤 大樹
  - 第三分団 佐藤 卓也
  - 第五分団 花井 卓也

### 市長カフェ

七月六日

主に広報紙を作成している企画情報部会では、今後の活動に役立てるため市長カフェに応募し開催しました。伊藤市長には、今後の桑名市の防災に対する考えや、団員確保に向けた考え方などの話ができ、団と市の連携がより良い消防団になると思われました。



- 多度方面団
  - 第一分団 伊藤 潤
  - 第二分団 水谷 祐介
  - 第三分団 伊藤 和貴
  - 第四分団 石川 佳央
  - 第五分団 小松 大祐



# 桑名方面団

## 第二天隊合同訓練

三月五日

桑名市南部に位置する、第一・三・五・十三分団の合同訓練が三重県消防学校にて実施されました。

消防学校では実際の火災を作り出すAFT施設を使い、熱気体験や消火訓練を行いました。

熱気体験は、建物内で燃える火の熱さや、水をかけた時の水蒸気の熱気を肌で感じる事が出来、火災の恐ろしさを体験できました。

消火訓練では火に立ち向かうだけでなく、要救助者を守りながらの消火や二次災害を防ぐこと等、状況に応じてチームで消火活動する訓練を行いました。火災で燃えている建物の中は、想像以上の熱気で、その中で活動することは容易ではありません。最前線で活動する消防職員のすごさを感じました。

また濃煙脱出訓練・要救助者搬送訓練なども行いました。



## 多度方面団

### 規律訓練・水防訓練

四月二十三日

新入団員を迎えた年度初の行事として、基本的な技術の習得と確認を行うため、多度町総合支所駐車場において実施しました。

規律訓練は、礼節を明らかにして厳正な規律を身に付けることで部隊行動を確実軽快にするとともに、強固な団結を図ることで団員が一体となって任務を遂行するための基礎を作ることを目的としています。

この訓練では、基本的な姿



勢や右向け右、まわれ右、敬礼などの動作を確認したあと、響きわたる大きな号令や掛け声とともに、各分団で整列や隊形変更、かけ足呼称を行ないました。

水防訓練では、梅雨時や台風時期、近年、増加している集中豪雨への備えとして水防工法を実施しました。

訓練は土のうを作る「土のう拵え」に始まり、水位が上がり、水が堤防を越えそうな時に行う「積み土のう工」を実施しました。

半日の訓練でしたが、いつ大きな災害に襲われてもおかしくはないという地域性のため、団員の防災意識は高く、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

# 長島方面団

## 消防技術競練会

三月五日

長島防災コミュニティセンターにて実施しました。

機動分団の廃止にともない二十八年度より、地域再編し六分団制となり、初の開催となりました。

この訓練は、実際の火災を想定し厳正な規律・安全管理、確実・迅速な防衛活動と、消防技術の向上及び消防団相互の連携を図ることを目的として行っています。

本年度は、各分団が待機場所にて団本部からの出動命令の無線を受信・応答後、車両を発進し水利部署等を無線にて報告し、防火水槽へ向かいます。

水利到着後、指揮者の号令と共に操作開始し、第一標的までホースを延長し、放水開始します。第一標的では、ドラム缶二ヶ所へ注水し、その後、第二標的へ移動し、火点標的・円盤標的への放水及び、



ドラム缶への注水をおこないます。

審査は、出動命令から指揮者による訓練終了報告後の各隊員に対する「撤収」号令までとし、不適事項を持ち点一〇〇から減点し、同点の場合タイムの早い方を上位とする方法で行われました。

本年度は、各分団の実力が均衡し、事前訓練や日々の訓練の成果が存分に発揮出来たかと思えます。次回の競練会ではますますの技術向上をめざします。

- 尚、結果は次の通りです。
- 一位 第三分団
- 二位 第四分団
- 三位 第二分団



# ◆◆◆◆ 特集：「今」できる、地震への備え ◆◆◆◆

東日本大震災の津波の映像は衝撃的でした。  
 その恐怖から「地震が起きたら津波からどうやって逃げよう？」ばかりを考えている人が多いのではないのでしょうか？  
 しかし、地震の「揺れ（ゆれ）」の事を忘れていませんか？  
 阪神淡路大震災では、約6000名の死亡者の、実に7割の死因が「圧死・窒息死」だったそうです。倒れた建物や家具等の下敷きになって亡くなられているのです。



## 「今」何ができるでしょうか？

地震が起きたら、まず第一に「揺れ」から生き延びなければいけません。その為には、家の耐震補強や、家具の固定が必要です。しかし、地震はいつ起こるかわかりません。耐震工事の手配や家具を固定する材料の準備をしている間にも起こるかも知れません。本格的な対策の前に、固定金具や突っ張り棒などの材料が無くても「今すぐできる」地震への備えを考えてみましょう。



### 下敷きにならないように

震度5で、固定していない家具は倒れます。  
 「家具は地震で倒れるもの」と考えましょう。  
 では、地震が、夜に寝ている時に起きたら・・・？  
 「寝室には大きな家具を置かない」というのが理想的ですが、そんなわけにもいきませんよね？

- ・家具が倒れてくることが多い前方では寝ない
- ・家具が倒れても届かない距離を取る

というように、家具や寝具の配置を工夫するだけでも効果的です。



### 安全な場所を知ろう



普段の生活場所で、緊急地震速報のアラームが鳴った時、大きな揺れを感じた時、とりあえず身を守る場所がありますか？  
 部屋の中で家具が倒れてこない場所を知っておきましょう。  
 机の下に物が置いてあると、身を守るために隠れることが出来ません。身体が入る十分なスペースを作っておきましょう。

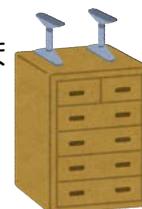
### 逃げ道を作ろう

揺れがおさまったら、避難しなければいけません。  
 部屋の出口までたどり着けますか？ 戸は開きますか？  
 廊下や階段に邪魔なものはありますか？  
 避難する時の逃げ道も考えた家具の配置をしておきましょう。



## 地震は待ってくれません

ここでは、何も用意しなくても、「今」出来る地震対策を考えてみました。もちろん、これで万全なわけではありません。  
 家の耐震診断・耐震補強、家具などの固定、非常持ち出し品や備蓄品の準備など、すべきことはたくさんあります。出来ることからひとつひとつやっていきましょう。





女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。

桑名市女性消防団 検索 ←クリック！



# 女性消防団



背中に消防団の名前を背負ってます！



## 活動服が新しくないました 心機一転がんばります！



平成29年秋



ピーちゃんです  
よろしくね

応急手当指導員講習



指導員が増えました。



新しい仲間が  
増えました♪  
一緒に勉強中です



高齢者宅防火診断  
などで使うマスコットを  
みんなで作っています。



防災コーディネーターなどの資格  
を取っています。



認知症  
サポーターの  
オレンジリング

今まで通りの活動はもちろん、  
新しいことにもどんどん  
チャレンジしていきます！

ライフジャケットを着用して  
水防訓練に参加、  
土のうを作りました。



地域のために女性の優しさ・細やかさを活かして、  
一緒に活動しましょう！ 団員を募集しています。

くわしくは→ 桑名市消防本部 総務課 TEL24-5274



私たち みんながちがって みんないい